



南あわじ市

第48号

平成28年1月31日発行

議会だより

南あわじを 語ろう!



吉備国際大学生との意見交換会を開催

11月4日、議会広報広聴常任委員会が、吉備国際大学生との意見交換会を開催しました。大学生26名と、南あわじ市の魅力や、市に期待することなど、約1時間30分にわたって活発な意見交換を行いました。(16～17ページに詳細)

主な内容

第64回定例会の結果	2 ~ 9
一般質問	10 ~ 15
委員会調査レポート	16 ~ 17
議会報告会	18 ~ 19

編集／南あわじ市議会広報広聴常任委員会

発行／南あわじ市議会 〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1 TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp> Email gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務常任委員会



柏木 剛 熊田 司 廣内孝次 印部久信
中村三千雄 ◎森上祐治 ○蛭子智彦 北村利夫

【所管事務】

危機管理部、企画部、総務部、市民部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会



長船吉博 吉田良子 木場 徹 小島 一
川上 命 ◎阿部計一 ○谷口博文 登里伸一

【所管事務】

福祉部、農商部、建設部、教育委員会、農業委員会の所管に関する事項

議会広報広聴常任委員会



柏木 剛 吉田良子 森上祐治
阿部計一 ◎廣内孝次 ○木場 徹

【所管事務】

広報活動、広聴活動、議会広報紙、議会報告会に関する事項

議会運営委員会



印部久信 柏木 剛 蛭子智彦
阿部計一 ◎川上 命 ○小島 一

【所掌事務】

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

昨年南あわじ市制10周年の記念すべき年を、市民の皆様とともに迎えることができ、大変うれしく思っております。

治体に大きな衝撃となり、南あわじ市議会でも一般質問などで度々取り上げられました。現在、南あわじ市では、あたらしい10年に向かって様々な中長期計画を策定中ではありますが、その根底となる「将来推計人口」をど



原口 育大 議長

議長就任挨拶

より身近で開かれた議会を目指して

う捉えるかが、大変重要であります。まち・ひと・しごと創生法に基づき提出が努力義務付けされている地方版総合戦略の骨子案が昨年末に市民懇談会に提出され、まもなくパブリックコメントなどの手続きを経て確定されます。市民の



柏木 剛 副議長

皆様にも大いに関心を持っていただきご意見を賜れば幸いです。議会としても広聴活動の重要性から、広報広聴活動を常任委員会化し、昨年は子ども議会の開催や吉備国際大学の学生との意見交換会など、幅広い世代の多様な意見を聞く機会を設けました。市民の皆様のご意見を反映するため、より身近で開かれた議会を目指して精一杯取り組みますので、今後とも鞭撻をお願い申し上げます。

第64回定例会の日程

- 11月20日 本会議1日目 (議長・副議長の選挙ほか)
- " 26日 本会議2日目 (議案上程ほか)
- 12月 3日 本会議3日目 (一般質問)
- " 4日 本会議4日目 (一般質問ほか)
- " 9日 総務常任委員会 (議案審査)
- " 10日 産業厚生常任委員会 (議案審査)
- " 14日 本会議5日目 (採決ほか)

第64回南あわじ市議会定例会が11月20日から12月14日までの会期で開かれ、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。また、市長より議案27件、人事案件2件の提案があり、議会からは請願2件、意見書2件を提出し審議しました。主な議案の内容や質疑、採決の結果をお知らせします。

監査委員 北村 利夫
兵庫県後期高齢者 医療広域連合議会議員 小島 一
淡路広域団体議会議員(3団体) 原口 育大 柏木 剛 森上 祐治
洲本市・南あわじ市 衛生事務組合議会議員 蛭子 智彦 森上 祐治 熊田 司 廣内 孝次 印部 久信
南あわじ市・洲本市 小中学校組合議会議員 吉田 良子 小島 一 阿部 計一

※南あわじ市議会議員のみ掲載

ふるさと納税特産品贈答管理 委託料などを追加 27年度一般会計補正予算(第4号)

■議案内容
歳入歳出それぞれ
3335万7千円を減
額する。

○ 一般会計に繰り入
れて、市債の償還に充
てることにより、市民
に還元していきたい。

■主な質疑

▼ケーブルテレビ
事業特別会計か
らの繰入金26
00万円追加

○ 寄附金1億円分
に対しての計上か。

○ そのとおり。

問 ケーブルテレビ事
業の消費税未納分のう
ち、時効となった約
1700万円の対応
は。

○ 市民から寄附を募
るため、贈答品一覽を
掲載したチラシを新聞
折り込みしては。

○ 28年に向けて検討

福良保育 園運営委 託料 2453 万円追加

○ 追加の理由
は。

○ 子ども・子
育て支援新制度
の開始に伴い、
運営費の公定価
格の引き上げ、
また0歳児が3名入園
したため。

施設栽培モデル 実証事業補助金 985万円追加

○ 内容は。

○ JAあわじ島が建
設するトマトの養液栽
培施設に対する補助金
で、規模は横8m、縦
44mの4連棟の鉄骨ハ
ウスの整備を予定。県
補助金が事業費の3分
の1、また10分の1を
市の一般財源からJA

銅鐸復元品制作 業務委託料 70万円追加

○ 内容は。

○ 発見された銅鐸の
復元品を2点制作する。
1点は2月に開催のシ
ンポジウムや新庁舎で
展示し、もう1点は、
銅鐸の発見に寄与され
た方への贈呈を予定。

27年度産業廃棄物最終処分事 業特別会計補正予算(第1号)

■議案内容

平成26年度決算によ
り生じた歳入歳出差引
残額の一部1413万
2千円の追加など、歳
入歳出それぞれ155
5万3千円を追加す
る。

○ 平成26年度末で
76・84%。

○ あと何年、利用で
きるのか。

○ 今後、約10年で使
用できなくなる見込
み。

■議決結果

賛成多数で原案可決

27年度ケーブルテレビ事業 特別会計補正予算(第2号)

■議案内容

一般会計からの事業
振替による防災行政無
線整備事業費9億92
98万5千円の追加な
ど、歳入歳出それぞれ

10億2642万9千円
を追加する。

■主な質疑

○ 一般会計から防災
行政無線整備工事費9

億8千万円を本特別会
計に移すことに伴い、
還付される消費税額
は。

○ 5900万円と試
算。

■議決結果

賛成多数で原案可決

27年度介護保険 特別会計補正予算(第2号)

■議案内容

歳入歳出それぞれ、
保険事業勘定に602
6万8千円を追加し、
介護サービス事業勘定
に716万6千円を減
額する。

○ 利用料金は。

○ それぞれ29名の定
員で、12月初旬時点の
入所人数は、太陽の家
が19名、おのころが7
名。また、利用料金は、
金額の高い方で約10万
7千円。

■主な質疑

○ 待機者が多い
中、満床になって
いない要因に高い
利用料があげられ
る。施設ができる
ことで保険料にも
跳ね返るため、実

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲大規模改修が行われる三原中学校武道場

第三者による審査機関を設置 行政不服審査会条例制定

■議案内容

行政不服審査法の改
正に伴い、行政不服審
査制度の公平性を高め
るために設置される第

三者による審査機関に
ついて、必要な事項を
定める。

■主な質疑

○ 審査会委員は学識
経験者としているが、
弁護士や税理士などの
国家資格を持った方な
ども考えているのか。

■議決結果

賛成多数で原案可決

マイナンバーの利用範囲を決定 行政手続における特定の個人を識別 するための番号の利用等に関する法 律に基づく個人番号の利用及び特定 個人情報の提供に関する条例制定

■議案内容

「マイナンバー法」
の規定に基づき、本市
における個人番号の独
自利用などに関し必要
な事項を定める。

○ そもそもマイナン
バー制の導入は個人情
報流出のリスクに対し
ての国の責任が不明確
であり、マイナンバー
を利用することを前提
とした条例については
賛成できない。

■主な質疑

○ 市がマイナンバー
を利用できる事務は。
○ 社会保険や年金、
税金など法律で定める

■討論

反対 蛭子智彦議員

■討論要旨

○ 賛成多数で原案可決



■主な質疑
○ オープンした地域
密着型特別養護老人
ホーム「太陽の家ウエ
スト」と「いちごの家・
楽園おのころ」の入所
状況や要介護5の場合

○ 待機者が多い
中、満床になって
いない要因に高い
利用料があげられ
る。施設ができる
ことで保険料にも
跳ね返るため、実

○ 待機者が多い
中、満床になって
いない要因に高い
利用料があげられ
る。施設ができる
ことで保険料にも
跳ね返るため、実

○ 市がマイナンバー
を利用できる事務は。
○ 社会保険や年金、
税金など法律で定める

○ 市がマイナンバー
を利用できる事務は。
○ 社会保険や年金、
税金など法律で定める

○ 賛成多数で原案可決

公共施設の「解体」費用も 基金から使用可能に 公共施設等整備基金条例の一部改正

■議案内容
健全な財政運営に資するため、公共施設等整備基金の設置目的に公共施設などの「解体・撤去」を加える。

対応していきたい。

■討論
反対 蛭子智彦議員

討論要旨

「公共施設解体撤去ありき」の議案提案と受け止める。分庁舎後の利用計画が不明確なまま、解体撤去を急がれると地域住民の不安感が増すばかりである。

る。中心市街地の活性化にもつと情熱を注ぐことを求める立場から反対。

■議決結果
賛成多数で原案可決

■主な質疑
問 解体撤去が優先され、公共施設整備が遅れるのではないか。
答 人口減少が予想されておられ、必要に応じて施設を整備・修理・統合・解体撤去していくために基金を活用したい。
問 旧庁舎にある寄贈されたモニユメントの対応は。
答 現在の場所に残したいが、移設できる場所があれば、寄贈された方にも声を掛けて、



▲旧 三原庁舎



▲旧 南淡庁舎



▲旧 西淡庁舎

「二宮保育所と榎列保育所」 「阿万保育所と灘保育所」を統合 保育所設置条例の一部改正

■議案内容
28年4月より「二宮保育所と榎列保育所」「灘保育所と阿万保育所」を統合する。また、榎列保育所の定員を90人から120人に変更する。

■主な質疑

問 阿万保育所への通園に、灘地区から阿万小学校へ行くスクールバスを利用できないか。
答 保護者との協議により、28年度に限り、特例で年長児の利用ができる。

問 スクールバスの乗車時、チャイルドシートの使用は徹底されるのか。

答 保護者が事前にスクールバスに設置することで対応する。
問 廃止となる二宮保育所の跡地利用
答 現在、榎列保育所と二宮保育所で計150名の定員だが、統合後、120名に設定した理由は、施設の床面積と榎列地区の将来的な出生数を考慮して決定した。また、定員を超えても2割の範囲内であれば受入れ可能であるため問題はない。



▲阿万保育所と統合される灘保育所

問 他保育所の統廃合の計画は。
答 「保育所のあり方検討委員会」による「1小学校区1保育所」の提言に基づき、1小学校区に2施設がある松帆、福良、北阿万地区は、時期は未決定だが、今後統合を進めていく。

問 現在、榎列保育所と二宮保育所で計150名の定員だが、統合後、120名に設定した理由は、施設の床面積と榎列地区の将来的な出生数を考慮して決定した。また、定員を超えても2割の範囲内であれば受入れ可能であるため問題はない。
■議決結果
賛成多数で原案可決

南淡福祉保健センターを廃止 緑保健福祉センターへ集約 保健センター条例の一部改正

■議案内容
保健事業の機能強化を図るため、南淡福祉保健センターを廃止し、事業拠点を緑保健福祉センターに集約する。

も使用できる。

■討論
反対 吉田良子議員

討論要旨

南淡福祉保健センターを廃止し、休日応急診療所を移転する計画であるが、保健センターは、保健師などが中心となり、市民の健康づくり、相談、保健指導を行うための拠点施設である。三原、西淡保健センターの廃止に続き集約一本化は認められない。

■議決結果
賛成多数で原案可決

休日応急診療所を移転 休日応急診療所条例の一部改正

■議案内容
現休日応急診療所施設が新耐震基準を満たしておらず、また老朽化が顕著であるため、現南淡福祉保健センターへ移転する。

■主な質疑
問 休日・夜間に救急医療を受けられる体制や、大規模災害発生時

に医師会と連携して活動する体制はできているか。
答 市民の安全安心の観点から、きつちり取り組んでいく。
問 これまで、調理室では社会福祉協議会が配食サービスの調理をしていたが、現在、広

人形浄瑠璃館の改修工費を請求 訴えの提起

■議案内容
淡路人形浄瑠璃館入口のスロープ部分の改修など、県の福祉のまちづくり条例に抵触する箇所の改修工事を26年6月に実施したが、その改修工事費など897万8310円の支払いを設計を行った株式会社遠藤秀平建築研究所に求めるもの。

条例と適合しているかどうかの判断は、担当者だけでは確認が困難であると思われる。専門的なアドバイザーや、プロポーザルに対して慎重な選定が必要ではないか。
答 庁舎建設では県まちづくり技術センターにアドバイザーとして参画いただいた。今後も、専門的な知識などが必要な

■議決結果
賛成多数で原案可決



▲休日応急診療所が移転される南淡福祉保健センター(賀集)

■主な質疑
問 福祉のまちづくり

淡路人形浄瑠璃館入口の改修工費を請求するもの。



▲淡路人形浄瑠璃館

議決結果一覽

議長（原口育大）は表決に加わらない。
(○は賛成、×は反対、除は除斥)

Table with columns for proposer (提出者), proposal name (議案名), decision result (議決結果), and individual council members' votes (各議員の賛否). Rows include various municipal resolutions and committee reports.

●総務=総務常任委員会 ●産厚=産業厚生常任委員会

水道施設耐震化の推進に対する支援の充実・強化等を国に求める意見書提出の件 請願は採択され、国に意見書を送付

請願者

阪神・淡路大震災20年事業 水道災害シンポジウム実行委員会 委員長 荒木一聡

紹介議員

小島 一議員

請願内容

①水道施設耐震化に対する支援の充実 ②広域連携の強化など 防災・減災対策の推進

主な質疑

問 耐震化の具体的な内容は。 答 老朽化した配水管を耐震性ある管へ更新することや、浄水場施設などの耐震補強など。

問 まず、どこから耐震化を行うのか。 答 総務常任委員会の発委で「水道施設の耐震化に対する支援の充実・強化等を求める意見書を送付

子ども・子育て支援新制度の拡充を求める意見書 原案可決され、国に意見書を送付

意見書内容

①保育所、学童保育などの施設整備に対する財源確保 ②保育所などに税金を投入する基準となる「公定価格」の改善 ③保育所職員などの待遇の改善 ④保育料など、保護者負担の引き下げ

意見書を送付

見書」の議案を本会議に提出しました。賛成多数で原案可決され、国へ意見書を提出しました。

意見書提出先

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(防災)など



▲子育て支援の充実を

意見書提出先

産業厚生常任委員会の発委で「子ども・子育て支援新制度の拡充を求める意見書」の議案を本会議に提出しました。賛成多数で原案可決され、国へ意見書を送付しました。

意見書を送付

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣など

「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願 請願は不採択

請願者

兵庫県商工団体連合会 会長 金沢夏江

紹介議員

吉田良子議員

請願内容

所得税法第56条の廃止を求める意見書を、国会と政府機関に提出すること。

主な質疑

問 青色申告すれば、配偶者などの給料を経費にできるので、56条の廃止は必要ないので。 答 56条は、50年前に作られた戦前の家制度などの名残であり、現在は、申告納税制度が定着している。また、白色申告者にも記帳義務が課され、青色申告と区別する必要はない

と考える。 問 56条を廃止した場合、恣意的な所得分割をどう防ぐのか。 答 給与が支払われたら源泉徴収をして税金を納めることになるので防げる。

討論

賛成 吉田良子議員

討論要旨

中小企業を支える家族従業員等の働き分(自家労賃)を必要経費として認められない制度であり、配偶者、特に女性の働き分を青色申告すれば給料を経費とすることができ、労働に青色、白色申告で差をつけること自体矛盾している。 議決結果 賛成少数で不採択

一般質問

市政を問う

12月3日・4日の2日間にわたって、10人の議員が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

「市ホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」
→「一般質問の録画配信」



人口減少時代の市政運営について

市民連合・無所属クラブ 北村 利夫 議員

問 人口減少、今後も続くか。
市民部長 続くと思う。
問 少子対策は総額年間いくらで、市単独ではいくらか。
福祉部長 15・3億円、補助事業の上乗せ分を合わせて、約3・7億円。
問 フロントランナーとして取り組んできた市の少子対策、何点だと思いか。
企画部長 かなり効果があったと理解している。



▲27年3月に閉校した旧灘小学校

問 小学校、市内に何校か。
教育次長 16校。
問 クラス替えができる規模が適正と考えるのと何校位が適正か。
教育次長 1クラス40人と仮定して240人が必要で、該当するのは広田小学校ぐらい。
問 人口減少が続く

と、今後の市政運営にどの様な影響が考えられるか。
総務部長 人口減少する中で、過去に建設された施設がこれから大量に更新時期を迎える中で、財政についてはこれから非常に厳しい状況になり、公共施設の総合管理計画に着手、公共施設維持管理・統廃合・新規について検討する資料を策定中。
問 過大投資にならないために、インフラを適正規模に合わせたり、効率的な管理方法に変えたり、発想の転換が必要では。
総務部長 人口の現状と課題、財政問題、将来コストの課題、人口、コスト増、これら長期的な視点をもった計画である。

シーパを軸に西淡地域の街づくりビジョンを

日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員

問 南あわじ全体の中で西淡地域というのはどういう位置か。今後どのようなビジョンを持って地域づくりを進めていくというお考えなのか、この点について市長にお尋ねしたい。
市長 西淡で特にいわれたら、もう低地の問題が一番の課題であるし、それについては積極的に今日まで取り組んできた。



問 旧庁舎がなくなったが駐車場がいしか提案がない。
市長 色々なハードルがあるが良好な構想行政だけでは進められないので地域の人に協力してほしい。
らん・らんバスのルート改善
問 らん・らんバスの状況は。
建設部長 利用者が7万人から2万



▲旧西淡庁舎周辺の活性化を

人口流出も激しい。明確なビジョンを示していただきたい。
市長 道路拡幅などの条件整備を踏まえこれから示していく。
問 シーパから道の駅構想が示されている。これにどう応えていくか。
農商部長 西淡まちづくり会社と協議を詰めたい。

人増え9万人の見込み。
問 特にせい太くん号にまだまだ不便さが残る。市民交流センターを軸にルート変更など改善できるのでは。
建設部長 地域公共交通会議で提案いただければ改善していく。
問 デマンド方式も改善しながら更に利便性を図ってほしい。
他にPPP対策を質問した。

町ぐるみ健診 がん検診の無料化を

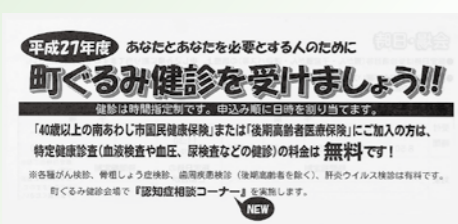
日本共産党南あわじ市議員 吉田 良子 議員

問 消費税の増税、年金引下げなどで市民生活は厳しい状況となっている。市民生活を支えていく市政になるよう新年度予算でがん検診を無料にしてはどうか。そこで南あわじ市の死亡原因はどうか。
福祉部長 1番はがん、2番は心疾患、3番は肺炎。
問 がん検診の受診状況はどうか。
福祉部長 胃がんは16・4%。大腸がんは32%、肺がんは36・9%。
問 特定健診が無料



になつて受診率はどう変化したか。
福祉部長 25年度から無料になり例年にない上がり方であった。
問 がん検診を無料にすれば財源はどうか。
福祉部長 胃がん検診で800万円、全体的で5400万円。
市長 財源が確保できるか担当で調べる。
問 未開設校区の解消は。
教育次長 4校区で準備し早急に実施したい。
問 定員を超えている施設の改善策は。
教育次長 今後の課題。
問 障がい児の学童

保育の職員の加配はどうか。
市長 教育委員会で適切かどうか検討していただきたい。
市民交流センターの充実について
問 総合窓口センターなどで申込ができていた県交通災害共済が市民交流センターでできなくなつた。改善が必要ではないか。
危機管理部長 一時預かり業務として対応する。



▲町ぐるみ検診の案内

市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

漁業振興について!!

問 日本漁業の現状は。

農商部長 20年間で半減、高齢化して非常に厳しく栄養塩の減少で漁獲高減少。

問 規制に反対することが漁業を守ることでと漁業関係者が言っている。

農商部長 聞いたことがありません。

問 南あわじ市の海洋環境保全対策は。

農商部長 窒素濃度を下げず試験的に実施し、意見交換で今後役立てる。

問 ダムの設置、河口堰の整備で山から

問 超微細の泡（マイクロバブル）を噴射で好気性微生物を活性化し、ヘドロ改

問 ミネラルや砂が流れてこなく海底が泥状で海洋生物が育ちにくくなっている。まだ重要な問題がある。貧酸素化とバラスト問題、では福良湾海底想像してどの様になっているか。

農商部長 ヘドロ状ですか。

問 その通りで貧酸素化し植物性プランクトンが育たなく藻場が激減。部長は曝気して聞いたことは。

農商部長 酸素を送り攪拌すること。

問 福良漁港の光景

良と海水浄化できる。曝気装置で下水道処理、家畜糞尿処理や各養殖場の処理が行われている。漁業振興のために、やってみませんか。

市長 漁協と担当で協議したい。

問 漁業振興、市長の強い姿勢を。

市長 栄養源を増やし、藻場の造成など合わせて可能な限り取り組む。



▲福良漁港の光景

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員

介護保険について

問 平成12年より介護保険制度発足。保険給付額3兆6000億円が26年10兆円を超え、当市も40億円余りの給付額、給付割合は国25%、県12.5%、市12.5%、40歳〜64歳28%、65歳以上22%である。当市65歳以上の被保険者数は。

福祉部長 1万5939人。

問 国民年金より保険料が天引きされるが金額は。

福祉部長 月平均5050円で、12段階に区分。

問 待機者数は。

福祉部長 特養44人、要介護3以上311人。

問 特養施設を造ったところで介護士不足と言われるが。

福祉部長 介護職員が不足しているが、施設も確保に努めている。

問 在宅介護において介護者が介護疲れ、精神的プレッシャーで悲惨な事件が起きている。精神的ケアについて。

市長 介護で頑張っている人も日が重なりと精神的障害も出てくるはず。介護保険の中で相談業務がとれるのか、別途事業をしなければならぬか、担当で調べて進めてもらう。



誠道クラブ 谷口 博文 議員

市制10周年の検証

問 本市の地方創生計画は。

企画部長 東京への過度な人口集中を是正、人口維持、活力ある日本社会を維持していくため、本市においても、今後目指すべき将来の方向を定義するまち・ひと・しごと創生長期ビジョンを作成準備している。

問 本市の人口動態の状況は。

市民部長 自然増減つまり出生、死亡の差が2622人減、社会増減、転入、転出が3154人減、

問 10年間で5410人減少。

問 本市の10年、20年後の人口推計は。

企画部長 国立社会保障人口問題研究所の推計では、10年後4万1763人、2030年では、3万9074人という人口推計である。

問 少子対策関連予算の推移は。

福祉部長 平成17年度、4億5千万円程度、現在は15億3千万円余り。

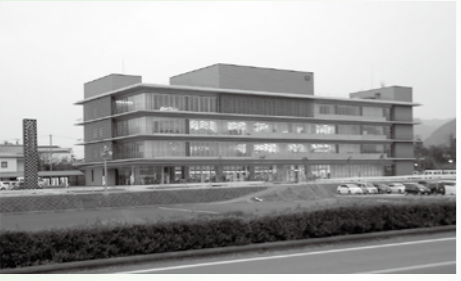
問 合併後の財政状況は。

総務部長 財政計画を策定し、選択と集中に基づく事業に取り組み、新庁舎、若人の広場、人形会館、食の拠点などの大規模な事業などを行い、

思い切った少子対策などもやりながら健全な財政運営を堅持してきた。

問 人口減少に歯止め、定住人口増の今後の対策は。

市長 少子対策に取り組み、定住人口増の住宅提供など、思い切った施策を実施したい。もう一つは、やはり企業誘致、合併当時から比べると財政もかなり改善されてきた。無駄でない、将来展望のつながる投資に取り組む。



▲27年に、市制10周年を迎えた南あわじ市

南あわじ市公明党 熊田 司 議員

高齢者、通学路の安全対策を望む

問 高齢者が安心して運転できるように交通環境を改修しているところもあるが、当市の取り組みは。

危機管理部長 取り組むべき課題を子どもと高齢者の交通安全として、交通事故防止運動を展開した。また、シルバー安全指導員を通じて、各地区の老人クラブへの交通安全の呼びかけなどを行っている。

問 まちづくり協議会で通学路の安全対策を考えては。

教育次長 地域づくり協議会で安心安全

問 部会を組織し、通学路の安全対策を協議されているところもある。教育委員会としても、校長会を通じて、協議会への参加、学校からの情報発信に積極的な協力を呼び掛けている。

問 販路拡大に積極的な支援を。

問 首都圏への販路拡大を強めるべきでは。

農商部長 市として積極的に実施している。アンテナショップも検討中である。販路拡大を目指す事業者について、ジェ

問 保険料5050円は他市に比べどうか。

福祉部長 県下で保険料、下から10番目、淡路市・洲本市より安い。

問 全国に要支援1〜2、要介護1〜5が586万人認定されている。当市は。

福祉部長 3215人。

問 特養、老健入所者は。

福祉部長 特養324人、地域密着型特養44人、老健225人。

問 特養施設を造ったところで介護士不足と言われるが。

福祉部長 介護職員が不足しているが、施設も確保に努めている。

問 在宅介護において介護者が介護疲れ、精神的プレッシャーで悲惨な事件が起きている。精神的ケアについて。

市長 介護で頑張っている人も日が重なりと精神的障害も出てくるはず。介護保険の中で相談業務がとれるのか、別途事業をしなければならぬか、担当で調べて進めてもらう。

問 ロタウイルスワクチンの接種費用を補助しては。

福祉部長 ワクチンの安全性や、2回接種と3回接種の2種類あり、同一方法での接種でなければ効果がないなどの課題がある。今後、他市の状況も見ながら検討していきたい。



一般質問

市民連合・無所属クラブ 木場 徹 議員

漁業振興と海の環境保全対策について



問 市内の藻場はどの位減っているか。
農商部長 淡路島南部で1950年代766畝から2007年584畝との資料あり。
問 藻場回復のための方策はあるか。
農商部長 市内9カ所の下水処理場で窒素増量運転の取組がある。
問 今後の漁業振興策の実施は。
農商部長 海底耕うん、種苗放流、築いそ、魚礁の設置を継

農業振興とTPP協定の影響と対策について

問 品目別に影響を説明してほしい。
農商部長 玉葱他野菜については大きな影響はない。淡路牛についてはブランド化で輸入牛とは差別化が図られ影響は少ない。乳製品については乳価の下落の懸念

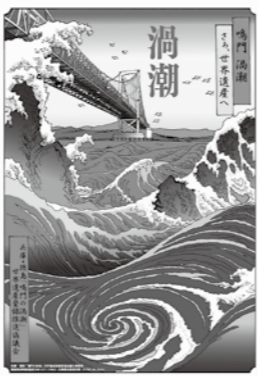


▲27年10月に行われた全日本ホルスタイン共進会(北海道安平町)

問 市長の考えは。
市長 TPPは避けて通れないが野菜については価格保障、再生産ができるものを確立してくれるからだ。機械、倉庫に半分以上4分の3まで国が支援をしてやる。国会議員、私たち、JA、県もその方向で真剣に取り組んでいくしかない。
その他の質問事項
①酪農家への支援策について ②風力発電災害のその後の対応について

政真クラブ 廣内 孝次 議員

鳴門の渦潮の世界遺産登録の推進は



▲鳴門海峡の渦潮を世界遺産に



問 兵庫県と徳島県で「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会が発足、推進活動が本格的に動き出したが状況は。
企画部長 6月9日鳴門の渦潮に関する講演会を開催した。兵庫県は自然遺産、徳島県は文化遺産と分担し進めている。
問 市民への啓蒙活動は。
企画部長 懸垂幕や営業自動車に貼るシールを検討中。
道路整備について
三原川左岸堤防

道路の通行止め、片側通行にできないか。
建設部長 理解願いたい。
問 市榎列線の榎列小学校から西川までの道路のグリーン舗装は。
建設部長 新年度予算で施工箇所に入る。
問 古津路大榎列線のおのころ橋までの延長は。
建設部長 地元調整や用地問題などができた段階で、事業化を進める箇所となっている。
問 その延長とおのころ橋から西川橋ま

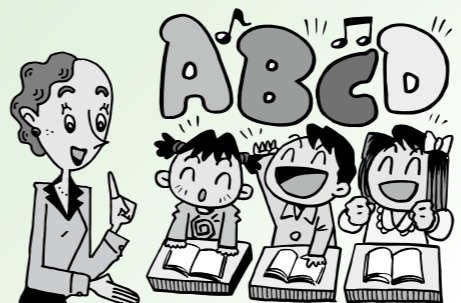
での新設は。
市長 新庁舎の説明会の時、道路の改修整備の要望を聞いている。土地所有者に説明をすれば理解が得られると思う。
問 入田、中八木の圃場整備の計画は。
農商部長 28年度の採択に向けて話し合いをしている。
問 県道洲本松帆船の掃守地区の対面交通の拡幅は。
建設部長 計画はない。
子ども議会での要望が多かった公園の設置は。
自治会の集会所の空地に遊具の設置補助制度を考えては。
福祉部長 今はないが検討してみる。

ゆづるはクラブ 森上 祐治 議員

教育は人なり



問 昨今の学校ではIT教育の進展が著しいが、一方、基礎学力で大切な『書く力』『作文力』が低下していつているのではと危惧するが。
教育次長 話す、聞く、読むことを含めた言語活動の充実を目指している。国語を中心に指導している。
問 スマホの普及が子ども社会でも社会問題化してきているが。
教育次長 南あわじ市スマホ・ネットセーフティ推進委員会



で状況を把握し、啓発に努めているところだ。
問 特別支援教育は学校の中核である。市内で39学級ある人材は大丈夫か。
教育次長 来年度施行予定の「障害者差別解消法」を見据えて、インクルーシブ教育の視点で、研修を深めている。
問 発達障害の子ど

もが増えている。彼らの指導も高度な力量と学級の人材配置・補強が必要だ。特別支援学級で学んでいない子どもたちの学級への市独自のバックアップは十分か。
教育次長 現場からの要望にはできる限り努力していきたい。
総務部長 この辺の事情については確認したい。
問 「教育は人なり」である。先生方、保護者は幅広く研究したり研修できる市独自の教育研究所的なものを作ってはどうか。
教育次長 現場からも教育センター設置の要望も上がってきている。今後、協議していきたい。

議会活動日誌

10月12月の議会活動状況について次のとおり報告します。

Table with columns for dates (10月, 11月, 12月) and descriptions of council activities, including memorial services, committee meetings, and administrative inspections.

一般質問

沼島の振興策は？

総務常任委員会

10月13日の委員会

離島振興

問 地域おこし協力隊の補充は考えているか。
答 NPO法人を設立し、地域おこし協力隊の後を地元でやっ...



▲沼島の周囲10kmを周遊する「おのころクルーズ」

食と銅鐸によるまちおこしをテーマに先進地を視察

産業厚生常任委員会

10月26日～27日 管外調査

福井県小浜市「食のまちづくりと生涯食育事業」

古代から御食国として豊富な食材を都へ運び、鯖街道の起点として平成27年に日本文化遺産第1号に認定され...

食のまちづくりは、平成12年、市長のトップダウンで始まり、13年全国初の食のまちづくり条例を制定。食育に、健康・教育・産業の活性化・食文化の継承を掲げ、市役所の11部署が食に関



▲野洲市の銅鐸博物館で銅鐸について説明を受ける

ふるさと応援寄附金

問 ポイント制とはどんなシステムか。
答 例えば、1万円した場合は20ポイント与えられ、ポイントの範囲内で謝礼品を組み合わせて贈ることができ...

問 クルージングは好評だが、海産物加工場もできていないが宣伝に行き届いてない。軌道に乗せて沼島の発展につながるように期待する。
答 1000品目を超えている。
問 商品を配送するシステムは。
答 納付されると納付額が上がってくるので、それを見て市が決済してポイントとパスワードを納付者に送る。あとJTBが商品管理をする。納付者がカタログなりインターネット上で商品申し込みJTBが生産者へ連絡して生産者から発送する。

11月12日の委員会

マイナンバー制度

問 市民への周知は。
答 納付されると納付額が上がってくるので、それを見て市が決済してポイントとパスワードを納付者に送る。あとJTBが商品管理をする。納付者がカタログなりインターネット上で商品申し込みJTBが生産者へ連絡して生産者から発送する。

委員会調査 レポート

各委員会では、議会閉会中も調査活動等を行っています。10、11月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載する予定ですのでご利用ください。

ここが知りたい

滋賀県野洲市「銅鐸によるまちおこし事業」

明治14年に日本最大の銅鐸（高さ134・7cm、重さ45・47kg）をはじめ計24個が出土、昭和63年に野洲市歴史民俗博物館を作り展示している。地域博物館と銅鐸博物館の2つの特徴があり、入館者数は昨年度、1万4600人、4割は市民である。

助言として当市所有の銅鐸は皆無で、松帆銅鐸を市の所有とする。維持管理費を考慮し併設や様々な地域の歴史を発信する場にするなどがあった。滋賀県で最古のゆるキャラ「ドウタクくん」でのPR、情報発信・イベント参加など、野洲市が培った技術・知識・経験などの指導をいただき、本市の銅鐸によるまちおこし事業を進めることが大切であると感じた。

問 国が制作した番組をケーブルテレビで放送している。市の広報紙でも掲載している。
問 どんな付加サービスを考えているか。
答 コンビニ交付、図書館カードや印鑑証明カードなど、いろいろなものが連携できるか、市内で詰めていく。

地方版総合戦略

問 策定作業の状況は。
答 27年末に骨子案を仕上げ、市民懇談会を2回程度開催して、あ

吉備国際大学生との意見交換会を開催

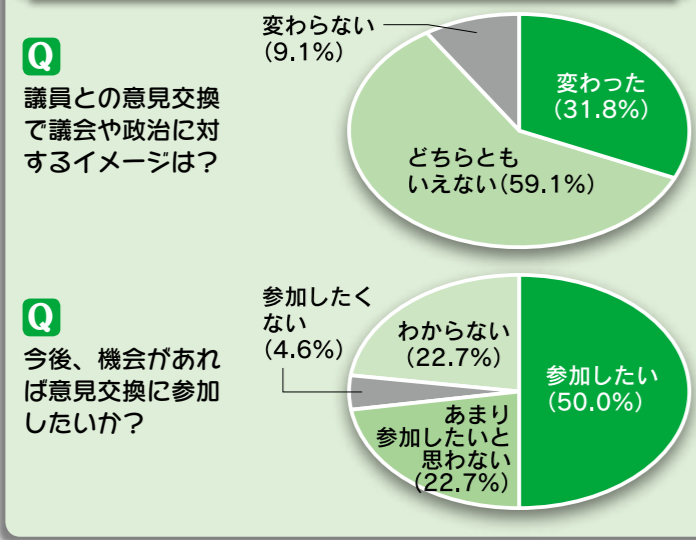
議会広報広聴常任委員会

若い世代から議会や市政に対する意見を聴き、今後の議会活動に生かすことを目的として、11月4日吉備国際大学南あわじ志知キャンパス校内で、学生との意見交換会を開催した。最初に議会の仕組みや役割について説明を行った後、南あわじ市に期待することや要望について活発な意見交換を行った。

学生からの意見 (一部紹介)

- ▼農家と仲良くなれたことがよかった。
▼人は温かいが、交通の便が悪い。
▼大型連休時に、福良マルシェ周辺に観光客が集中しているので、もう少し食べ歩きができるような店があれば、観光客が回遊しているのではないかと感じた。

吉備国際大学生との意見交換会アンケート結果



1年間の調査報告

12月定例会で議会広報広聴常任委員会と議会運営委員会の1年間の活動報告が行われました。

議会災害対応指針について調査

議会運営委員会

①議会運営

議会運営や活動の在り方全般について17回にわたり委員会を開催し協議、意見交換を行った。また、議会災害対応指針、災害時行動マニュアルなどの策定について、管外調査を実施し調査を行った。

③議長の諮問

発生が危惧される南海トラフ巨大地震、増加するゲリラ豪雨や土砂災害などあらゆる自然災害に対し、防災意識の向上と地域防災活動の活性化、専門的知見を活用し議員の知識を高め議会活動の活性化を図るため、防災・危機管理意識啓発に活躍中の防災システム研究所 所長 山村武彦氏を招き研修会を開催した。

②議会の会議規則、委員会に関する条例等

など

新庁舎開庁による市の行政組織の改編に伴い、委員会条例を改正、議事堂新設に伴い傍聴規則を見直した。近年の男女共同参画

子ども議会を初めて開催

議会広報広聴常任委員会

①広報活動

「議会だより」を年4回発行した。また、新議事堂の誕生に伴い、議場の新しい設備や議会フロアーの紹介を行った。

▼議会放送

引き続き、インターネットによるライブ中継や一般質問の録画放送、定例会のニュース番組を放送した。

②広聴活動

▼議会報告会

新たな試みとして、パワーポイントの使用や、より多くの参加者が質問できるよう質問

用紙の配布など、進行方法を工夫した。

▼子ども議会

新庁舎開庁・合併10周年企画として初めて開催。市内の各小学校の代表16名が子ども議員となり、身近な問題や市の課題について活発な質問を行った。

▼吉備国際大学生との意見交換会

南あわじ市に居住の感想や市に期待することなど、活発な意見交換会を行った。学生の要望やアンケート結果は、議長や市長に提出した。

市民の皆さんの声を市政に

11月に議会報告会を実施

議会基本条例に基づき、11月6日に中央公民館において議会報告会を開催し、20名の方にご参加いただきました。紙面の都合上、各会場で出た内容を要約して掲載しています。また、市長に対し意見交換やアンケートの結果のまとめを、議長から文書で提出しました。

意見交換会での市民からの意見と答弁

■敬老会

便宜を図ってもらいたい。例えば介護福祉の申請、火葬場の許可、死亡届。

問 27年度は、市民交流センター単位の開催となったが、28年度以降も同じか。
答 まだ未実施の地区もあるが、市としては開催状況を見て考えていくと思う。

■市民交流センター

問 市民交流センターで発行できない書類が多く、不便な思いをしている人も多くいる。

■松帆銅鑼

問 銅鑼の市の管理場所と資料館創設についてどう考えるか。

問 博物館法で規定され、市では玉青館のみ。銅鑼を市で管理できるようにすることが前提。他にも収蔵物があるので総合的に考えていく必要がある。

■障がい者対策

問 障がい者への市の対応は。

答 障害福祉計画ができていて、障がい者が市の情報に触れられないなどの不便な点が多いと思うが、何をしたいのか具体的に言えばアクションにつながると思う。公募委員になって意見を出して欲しい。



▲初めてパワーポイントを使い、定例会の結果を報告

アンケート結果

会場でアンケート調査を行い、16名の方から回答を頂きました。(回答率80%)

■報告会について

・質問用紙があったので、前回よりスムーズに進んだと思う。

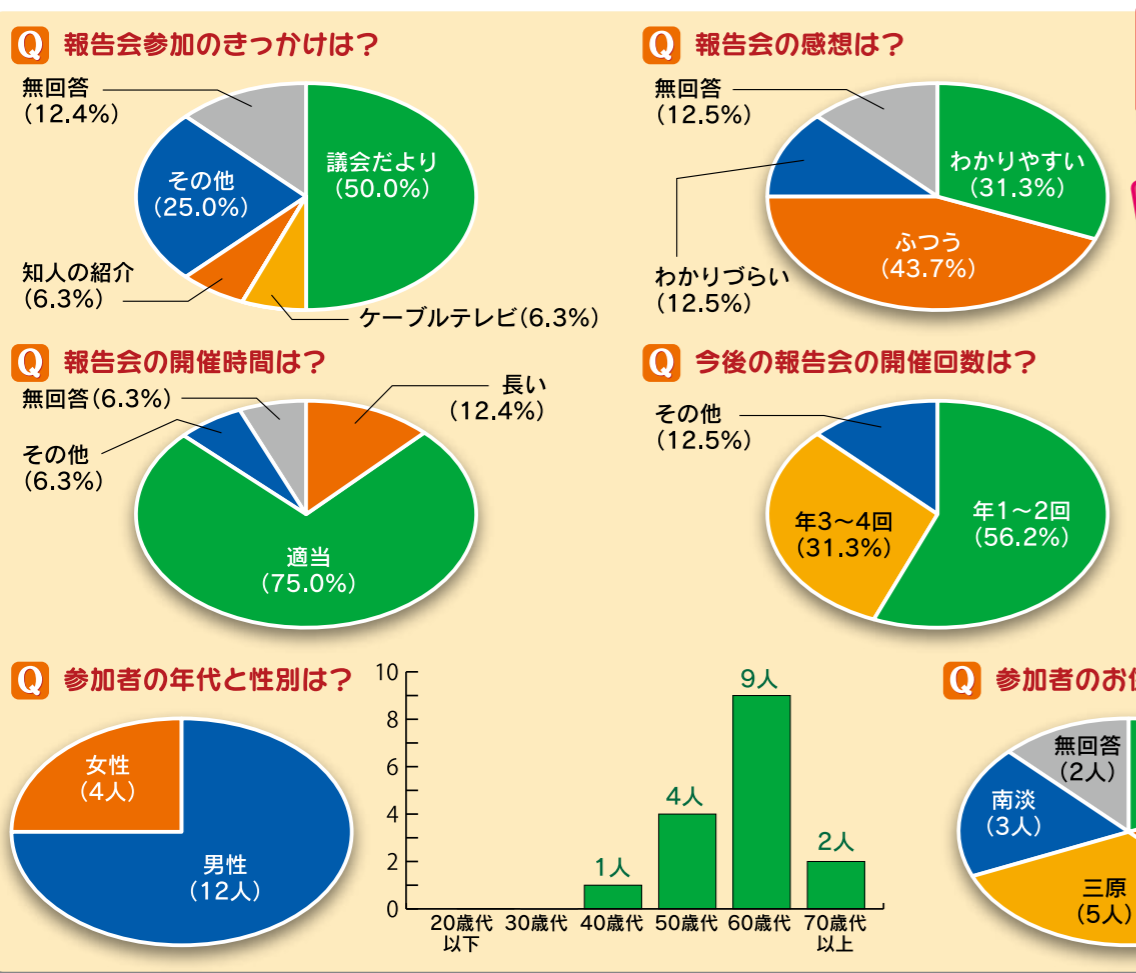
・市の状況がよく分かり、有意義な時間となった。
・去年と同様、参加者が非常に少ない。
・新しい試みもあって、よく準備されていると思った。
・議会だよりだけでは理解できないところも、報告会に出席して分かった。
・開催場所を増やす必要があるのでは。
・参加者が意外に少なく、びっくりした。

■ご意見・ご要望

・具体的に一つ一つ解決して市民に優しいまちにしてほしい。
・市における老人対策の目玉を作る必要があるのでは。
・酪農、畜産への支援をお願いしたい。

※詳しくは市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

アンケート結果



定例会

第66回 南あわじ市議会定例会日程（3月）

■ 本会議

◆開会はすべて午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 2月22日(月)	1.平成28年度施政方針表明
第2日 2月24日(水)	2.平成28年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算上程（説明） 3.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4.平成27年度南あわじ市一般会計、特別会計補正予算上程（説明、質疑、委員会付託） 5.その他の案件上程（説明、質疑、討論・表決（一部）、委員会付託）
第3日 2月29日(月)	1.一般質問（代表・個人） （平成28年度予算・施政方針の総括質疑含む）
第4日 3月1日(火)	
第5日 3月3日(木)	
第6日 3月4日(金)	1.一般質問 2.平成28年度南あわじ市一般会計、特別会計、公営企業会計予算（質疑、委員会付託） 3.追加議案上程（説明、質疑、討論・表決（一部）、委員会付託）
予備日 3月7日(月)	
第7日 3月23日(水)	1.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決） 2.追加議案上程（説明、質疑、討論、表決）



■ 委員会

◆開会はすべて午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務常任委員会	3月15日(火)
	産業厚生常任委員会	3月17日(木)

※平成28年度予算は、予算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、予算審査特別委員会設置後、3月8日(火)・9日(水)・11日(金)・14日(月)で行う予定です。

一部事務組合議会報告

南あわじ市・洲本

市小中学校組合

議会報告

▼平成27年第3回定例会（11月18日）

■26年度一般会計歳入歳出決算
歳入約2億7115万円、歳出約2億6650万円の決算であり、審議の結果、認定。

■27年度一般会計補正予算（第1号）
広田中学校校舎大規模改造工事の入札と計画変更による減額など、歳入歳出それぞれ2641万1千円を減額するものであり、審議の結果、可決。

■ 一般質問

間森和生議員

「学校教育の充実について」

洲本市・南あわじ

市衛生事務組合

議会報告

▼平成27年第3回定例会（12月24日）

■26年度一般会計歳入歳出決算
歳入約3億6845万円、歳出約3億6100万円の決算であり、審議の結果、認定。

■個人情報保護条例の一部改正
■議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
審議の結果、可決。

■ 議長選挙

当選 廣内孝次議員

■ 一般質問

近藤昭文議員

蛭子智彦議員

「今後の方針・取組み」

編集後記

正月三ケ日は大変暖かい穏やかな日が続きましたが、このように皆様方の平穩無事な一年であることをお祈り申し上げます。

夏の参議院議員選挙は18歳以上の初めでの選挙となります。若者の投票率は30%台と低くなっておりませんが、政治を考へることが多くの効果が出ることを期待します。

議会広報広聴常任委員会も新体制になり、広報紙により議会の活動状況を広く皆様に伝えるとともに、市民と議会の意思疎通を図るための広聴活動にも今まで以上に力を入れたらいいと思います。議会の傍聴や議会報告会に時間を作って参加して頂きますよう、お願いいたします。（廣内）